

# MIPRO

MA-707

Portable Wireless PA System

ユーザーマニュアル



## はじめに

このたびは MIPRO ポータブル PA システム MA-707 をお買い上げいただきありがとうございます。

本システムは内蔵するバッテリーで連続待機 8 時間、最大 100W の出力をクリヤーでパワフルなサウンドを再生いたします。軽量で堅牢な構造は屋外での使用に便利に設計されています。マイクはワイヤレス 2 本、有線 1 本が同時に使用できるほか、CD/MP3 プレーヤーを組み込むことで、学校、スポーツイベント等の集会对応できます。ご使用にあたり、この取扱説明書をよく読んでシステムを正しくお使いになり、末永くご愛用いただきますようお願いいたします。また、この取扱説明書は、必要な時に直ちにご利用いただけるように大切に保管してください。

## 製品保証について

保証書は必ず「お買い上げ日」「販売店名」などの記入をご確認いただき、製品と共にお受け取り下さい。お買い上げ日より一年間は保証期間内です。保証書記載事項に基づき無料修理等を保証させていただきます。修理等はお買い上げの販売店か日本テックトラスト株式会社までご依頼ください。改造等、設計製造上以外の要因で不都合が生じた場合、及びバッテリー等の消耗品については保証期間内であっても 保証の対象外となりますのでご注意ください。

## アフターサービス

故障や異常が生じた場合は速やかに使用を中止し、お買い上げの販売店か日本テックトラスト株式会社までご相談ください。保証期間経過後でもご要望により有償にて修理を承ります。修理を依頼される場合は「製品名、品番、故障箇所や異常の詳しい内容、購入年月日、お客様のご連絡先」をご連絡ください。

## 使用上のご注意

- 筐体は防水・防滴構造にはなっておりません。屋外で使用する場合は、本機を雨や湿気にさらさないようご注意ください。
- 万一水に濡れた場合は直ちに電源スイッチを切り、乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 照明用調光機、コンピューターなどの OA 機器、大型モーター、携帯電話、トランシーバー等の通信機器の近くでは雑音等の影響を受けることがありますので、なるべく離れて使用してください。
- 日常のお手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコール等は変色・変形の原因になりますので絶対に使用しないでください。
- 本製品の Bluetooth や B 型ワイヤレスシステムと同じ周波数を使用する機器の近くでは、電波の影響により音声途切れたり、ノイズが混入する可能性があります。干渉し合う機器同士は離してご使用ください。
- ワイヤレスマイクの送受信機は必ず MIPRO 製品同士でご使用ください。
- メーカーが指定する付属品/アクセサリをご使用ください。

お問い合わせ



**日本テックトラスト株式会社**

〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 30-13

グラスシティ元代々木 1F

TEL: 03-6407-0492 FAX: 03-6369-4465

E-mail: [sales@tech-trust.co.jp](mailto:sales@tech-trust.co.jp)

URL: <http://www.tech-trust.co.jp>

## 各部の説明

### 前面



### 背面



## 基本操作と注意事項の説明

### 電源スイッチ

- (1) 本体背面の電源スイッチを入れると、スイッチ上面の赤色 LED が点灯し電源が入ります。
  - (2) 内蔵バッテリーの電圧が規定値より低下しますと、電源スイッチ上面の LED が点滅します。点滅を確認した場合は速やかに使用を中止し、内蔵バッテリーを充電してください。
- (注) 電源を入れたまま収納してしまいますと、内蔵バッテリーの損傷だけではなく、発熱して大変危険です。必ず電源 OFF を確認してください。

### 内蔵バッテリーの充電

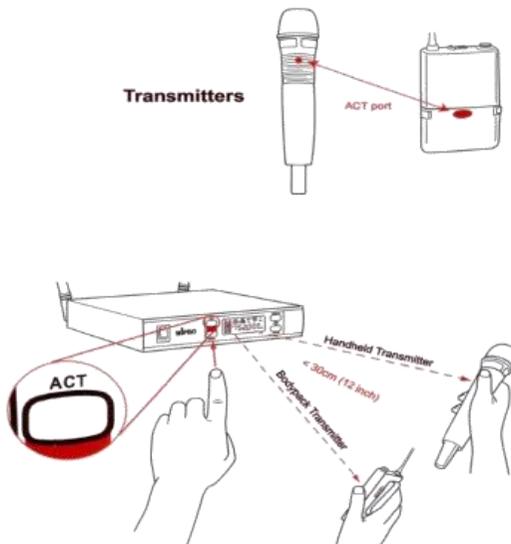
- (1) 充電用 AC 電源スイッチを入れ、本体背面の 100V 電源コネクタにケーブルを接続して、家庭用電源 (AC100V) のコンセントから充電して下さい (自動的に充電が開始されます)。
- (2) 充電表示赤色 LED が点滅し充電が行われます。
- (3) 充電表示赤色 LED の点滅が止まり、点灯したままの状態になれば充電完了です。

### 内蔵バッテリーの交換

- (1) バッテリーは本体背面のバッテリー収納部に入っていますので、蓋を外し、古いバッテリーを引っ張り出して、極性に注意をして慎重に交換を行って下さい。
  - (2) 交換用バッテリーはご購入店または当社までお問い合わせください。
- (注) バッテリーの交換時は必ず2本とも新しくしてください。

### ACT: 周波数自動設定操作

- (1) 送信機の ACT 信号受光部を、受信機のパネルに向けて 20cm 位近づけてください。
- (2) 受信機の ACT ボタン④を押します



## 各部の操作説明

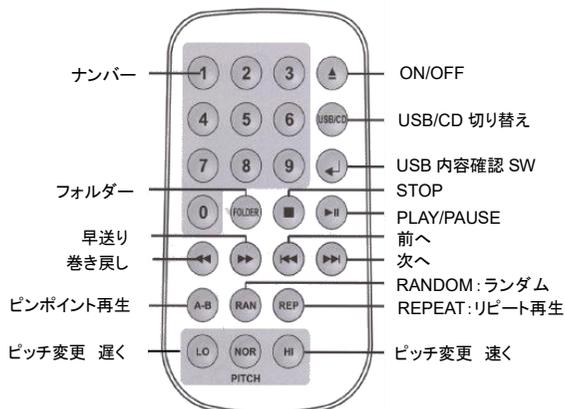
### ① CD+MP3 プレーヤー

基本仕様および操作方法は、車載されている CD プレーヤーに準じています。

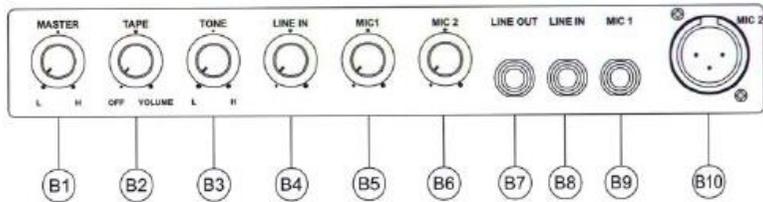


- ① POWER : POWER(電源スイッチ)ボタンを押すと電源が入り、表示窓②に状態が表示される。再び POWER ボタンを押すと電源が切れ、表示窓に何も表示されなくなります。
- ② 表示窓: 再生中の CD/MP3 のトラックナンバー、プレイタイム等が表示されます。
- ③ REPEAT : 同一トラックを繰り返し再生いたします。
- ④ STOP : 再生中に押すと CD 盤の回転が停止し再生が中断されます。再生を続行する場合は、PLAY ボタン⑩を押してください。
- ⑤ F.BWD: 巻き戻し
- ⑥ F.FWD: 早送り
- ⑦ LEVEL: 音量コントロール
- ⑧ NEXT: 次のトラック頭へ
- ⑨ PREV: 曲頭
- ⑩ PLAY/PAUSE: 再生一時中止
- ⑪ EJECT: CD ディスクの取り出し
- ⑫ CD 挿入口: 本機は標準の 12 センチ盤のみ使用できます。印刷されているラベル面を上にして静かに挿入して下さい。半分程度挿入しますと、自動的に内部に引き込み装填いたします。
- ⑬ USB ポート : MP3 プレーヤー接続用 (コントロールは全てリモコンから行います)
- ⑭ リモコン用赤外線受光部

生音のピッチコントロール及び MP3 プレーヤーのコントロールは同梱されている下図のリモート・コントローラーで全て行います。



## ② コントロールパネル



B1 MASTER: 音量のマスターコントロール

B2 TAPE: カセットプレーヤーの電源スイッチと音量コントロール\*カセットプレーヤーは 2013 年 4 月生産完了

B3 TONE: 時計 12 時が中点で、左(低音増加) 右(高音増加)調整できます。

B4 LINE: 外部入力 LINE IN の音量コントロール

B5 MIC 1: 有線マイク MIC1 の音量コントロール

B6 MIC 2: 有線マイク MIC2 の音量コントロール

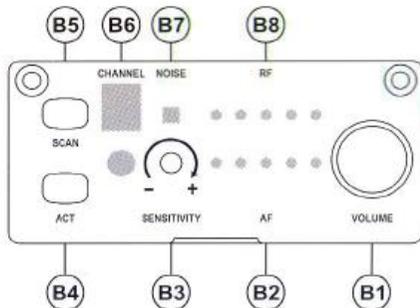
B7 LINE OUT: 外部出力コネクタ(6.3mmφ アンバランス)

B8 LINE IN: 外部入力コネクタ(6.3mmφ アンバランス)

B9 MIC 1: 有線マイクジャック(6.3mmφ アンバランス)

B10 MIC 2: 有線マイク入力 XLR コネクタ

## ③ ワイヤレスマイク受信機(オプション)



① 受信機電源スイッチ兼音量コントロール

② オーディオ信号・レベルメーター ( 5 ポイント)

③ スケルチ感度調整 : 送信機の電源を切ったときに雑音が続いていたら調整する。

④ ACT ボタン : 送信機の周波数を、受信機の周波数に合わせる場合に使用する。

⑤ SCAN ボタン : 空きチャンネルを自動的に見つける。

⑥ CHANNEL : チャンネル番号の表示

⑦ NOISE : 混信状態の表示

⑧ RF : 受信電波の強度表示 ( 5 ポイント)

## 使用チャンネル(周波数)の決定方法

### (A) オートスキャン(自動式)

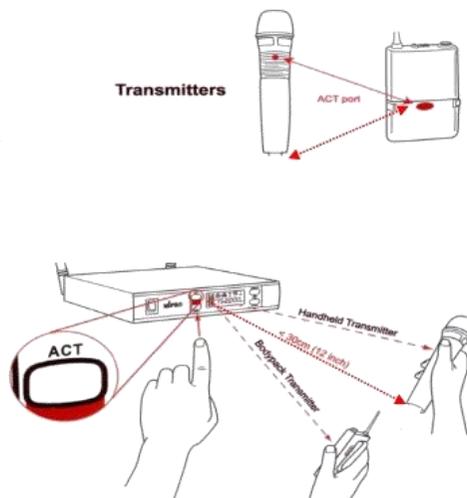
- ① 送信機の電源を OFF にします。
- ② 受信機電源スイッチ兼音量コントロールを時計廻りに動かし、電源を ON にして音量は最少の位置にします。
- ③ 受信機の SCAN ボタンを約 1 秒程度押し続けます。
- ④ CHANNEL 表示の LED が点滅したら、SCAN ボタンを離します(6 回点滅します)。
- ⑤ 点滅中に SCAN ボタンを押すと自動的に空きチャンネルを見つけ、チャンネル番号を表示します。
- ⑥ 送信機の電源を ON にして、送信機の ACT シグナル受信部を、受信機パネルに 20cm 程度近づけ、受信機の ACT ボタンを押すと、自動的に送信周波数が設定されます。
- ⑦ 受信機の RF メーターが充分点灯していることを確認し、適度な音量に調整してご使用ください。

### (B) 手動 (混信等で他のチャンネルに変更したいときに使用)

- ① 送信機の電源を OFF にします。
- ② 受信機の SCAN ボタンを約 1 秒程度押し続けます。
- ③ CHANNEL 表示の LED が点滅したら、SCAN ボタンを離します。(6 回点滅します)
- ④ 点滅中に再び SCAN ボタンを押し続けると、チャンネル表示が 2 回ずつ点滅します。
- ⑤ SCAN ボタンを押し続けるとチャンネル番号が変わります。
- ⑥ 使用したいチャンネル番号を表示させ SCAN ボタンを離します。
- ⑦ 送信機の電源を ON にして、送信機の ACT シグナル受信部を、受信機パネル 20cm 程度近づけ、受信機の ACT ボタンを押すと、自動的に送信周波数が設定されます。
- ⑧ 受信機の RF メーターが充分点灯していることを確認して使用してください。

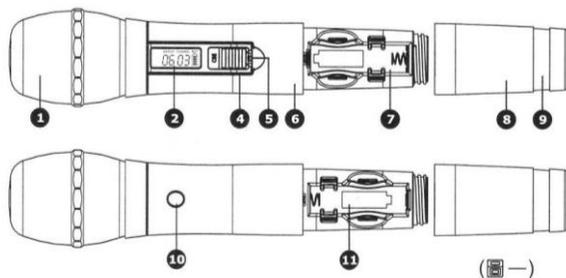
## ACT: 周波数自動設定操作

- (1) 送信機の ACT 信号受光部を、受信機のパネルに向けて 20cm 位近づけてください。
- (2) 受信機の ACT ボタン④を押します。



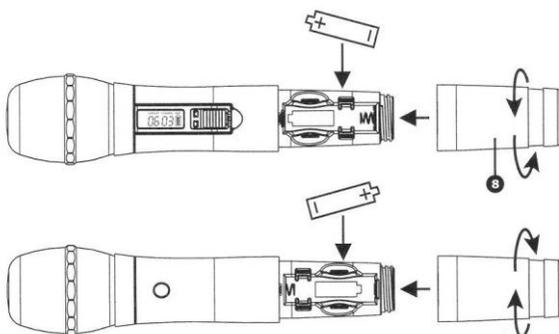
## 各部の説明

### ACT-32H ハンドタイプ



- ① グリル: ポップノイズ(吹かれ)を防ぐウインドスクリーンを内蔵し、転がり防止の角つきグリルを採用しています。
- ② LCD ディスプレイ: グループチャンネル、電池残量、エラーコードを表示します。
- ④ 電源スイッチ: スライドをさせて ON/OFF を行います。
- ⑤ ロックスイッチ: 電源 ON の後ロックスイッチをスライドさせることにより、誤って電源を切ることを防ぎます。
- ⑥ ハウジングケース
- ⑦⑪ 電池ケース: アルカリ単三型電池×2 本を使用します。
- ⑧ 電池ケースカバー
- ⑨ カラーリング : 複数のマイクを色分けにて識別できます。
- ⑩ ACT 赤外線受光部: 受信機の ACT 送信ポートに ACT 赤外線受光部⑩を近付けて周波数を設定します。  
**ACT: 自動周波数設定方法は、受信機の説明書を参考にしてください。**

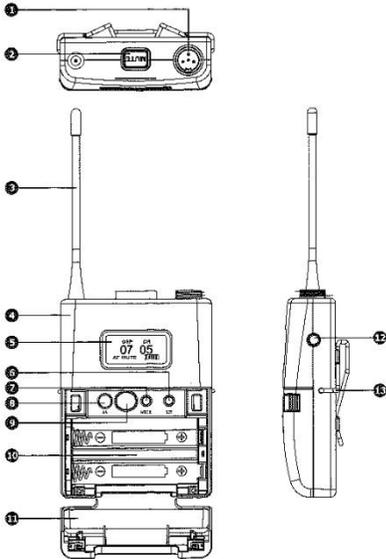
### 電池の交換方法



**注意: 電池を交換する場合は、必ず電源スイッチを OFF の状態にしてから行ってください。**

- ◎ 電池ケースカバー⑧を、矢印の方向(ねじを緩める方向)へ回転させて本体からはずし、電池を交換してください。
- ◎ 電池の極性(＋)を間違いなく、慎重に装填してください。
- ◎ 使用する電池は 1.5V アルカリ単三型電池を 2 本ご使用ください。

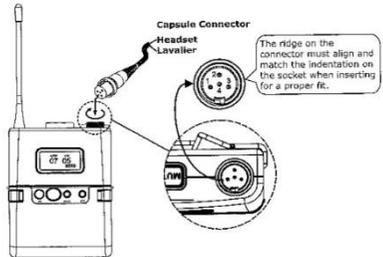
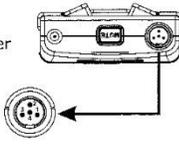
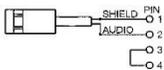
# ACT-32T ボディバックタイプ(ツーピースタイプ)



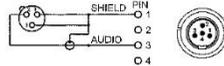
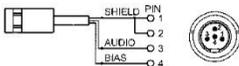
- ① **マイクコネクタ**: TA4F mini 4pin コネクタが接続できます。
- ② **MUTE ボタン**: ミュート、ミュート解除を設定します。
- ③ **送信アンテナ**
- ④ **送信機本体ケース**
- ⑤ **LCD ディスプレイ**
- ⑥ **SET ボタン**: オーディオゲインの調整、RF 出力を変更できます。  
RF 出力は Hi が 10mW、Lo が 1mW です。
- ⑦ **MODE ボタン**: LCD ディスプレイの表示モードを変更します。
- ⑧ **電源ボタン**: このボタンを 2 秒間押すことで電源の ON/OFF が出来ます。
- ⑨ **ACT ポート**: この部分を受信機に近づけて ACT シンク(周波数自動設定)を行います。
- ⑩ **バッテリーコンパートメント**: バッテリーを入れるスペースです。
- ⑪ **バッテリーカバー**
- ⑫ **外部ミュートコネクタ**: 外部ミュートスイッチケーブル(別売 MJ-70)を接続することで、任意のタイミングでミュートが可能になります
- ⑬ **ベルトクリップ**: 着脱可能、リバーシブルタイプのベルトクリップです。

※マイクコネクタへの接続は、下図のようにコネクタガイドに注意して差し込んでください。

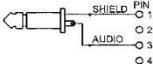
(1) 2-Wire Electret condenser microphone Capsule



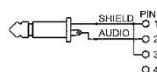
(2) 3-Wire Electret condenser microphone Capsule (3) Dynamic Microphone



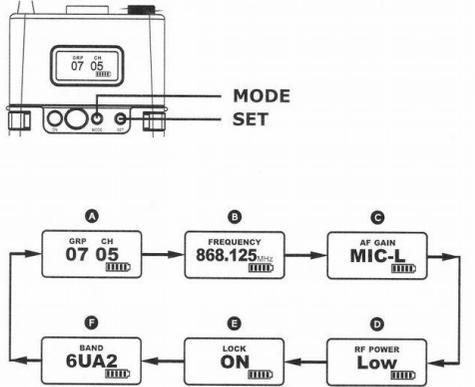
(4) Electric Guitar



(5) Line-in (Impedance 8KΩ ATT. 10dB)



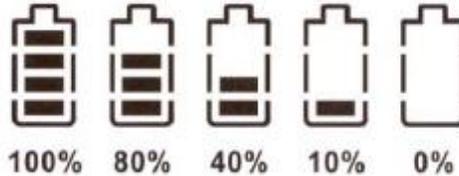
## 機能表示



ディスプレイは MODE スイッチを押すごとに、上図 A～F まで 6 つのメニューが表示され、SET ボタンでパラメータを設定します。

- A. グループとチャンネル番号（表示のみ）
- B. 周波数（表示のみ）
- C. 音声入力レベル LINE → MIC-L → MIC-M → MIC-H
- D. RF 出力 LOW(1mW) ⇔ High(10mW)
- E. 誤動作防止用ロック機能 ON ⇔ OFF
- F. 周波数バンド（表示のみ） 日本仕様は 8A

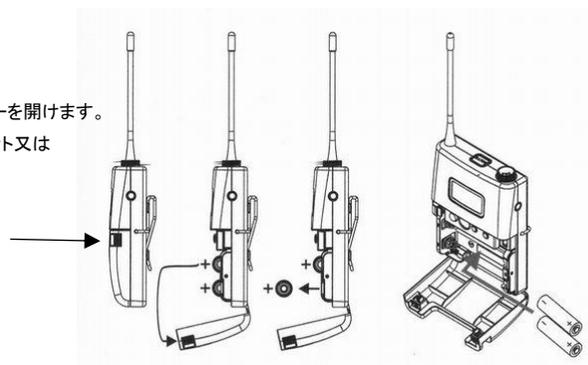
電池メーター 下記の表示がでます（10%に成りましたら、速やかに電池を交換してください）



## 電池のセット又は交換

電池収納部カバー⑩の矢印部分を指で押さえてラッチをはずしながら、カバーを開けます。1.5V 単三電池を二本、右図の要領でセット又は交換してください。

電池収納部カバー⑩



## MA-707 仕様書

スピーカー出力	70 W (RMS)/100 W (MAX)
歪み	1% 以下
周波数特性	50 Hz ~ 18 kHz ± 3 dB
スピーカー	8 インチ フルレンジ スピーカー
ワイヤレス受信機	MRM-70B x 1 搭載 (MRM-70B x 2 組み込み可能)
ワイヤレス送信機	オプション (ACT-32H/T の組み合わせ)
受信アンテナ	内蔵
CD プレーヤー	オプション (CDM 2P プレーヤー)
入 力	マイク入力 (XLR) x 1 ライン入力 (6.3mm) x 1
出 力	ライン出力 (6.3mm) x 1
内蔵電源	12V /4.5Ah バッテリー x 2
AC 外部電源	AC 100V 50 ~ 60 Hz
内蔵バッテリー充電時間	約 8 時間 (フル充電)
内蔵電源連続待機時間	約 8 時間
外形寸法	310 (W) x 445 (H) x 240 (D) mm
重 量	14.8Kg
色	黒

## 送信機仕様書

	ハンドタイプ	ボディパックタイプ
型 名	ACT-32H	ACT-32T
ケース	プラスチック	
発振方式	PLL	
周波数帯域	B 型 UHF 806~810 MHz	
周波数セットアップ	ACT (周波数自動セットアップ)	
送信出力	10mW	
アンテナ	1/4 λ ホイップ型 (内蔵)	1/4 λ ホイップ型
マイクカプセル	MU-80 (コンデンサー型)	MU-53L/MU-53HN (ピンマイク)
電 池	1.5V 単三型乾電池 x 2	
寸 法	51φ x 234mm	63 x 82 x 22mm
重 量	251g	83g

## ワイヤレスマイク チャンネル表示と周波数対照表 周波数は MHz

チャンネル番号	0	1	2	3
周波数	806.125	806.375	807.125	807.750
チャンネル番号	4	5	6	7
周波数	809.000	809.500	806.625	806.875
チャンネル番号	8	9	10	11
周波数	807.375	808.250	808.625	809.250
チャンネル番号	12	13	14	15
周波数	808.000	809.125	809.375	809.750



**日本テックトラスト株式会社**

〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 30-13  
グラスシティ元代々木1F

TEL: 03-6407-0492 FAX: 03-6369-4465

E-mail: [sales@tech-trust.co.jp](mailto:sales@tech-trust.co.jp)

URL: <http://www.tech-trust.co.jp>